

# 血の池地獄 こども「色」博物館とワークショップの開催について

「地域の色・自分の色」研究会

令和6年度の文部科学省検定教科書(「図画工作3・4下力を合わせて(発行:開隆堂出版株式会社)」)に、「地域の色・自分の色」研究会の活動(研究協力校:別府市立鶴見小学校)が取り上げられました。

主に、血の池地獄の赤い泥を活用した活動(こども色博物館)についてでした。

教育目的は、「地域のよさを生かした造形活動から郷土を理解する」「地域の伝統文化や材料などを生かした造形活動を積極的に取り上げ、その良さを十分に味わえるようにした」とされています。

それを受けて、鶴見小学校の3年生全員が、授業の中で、血の池地獄の泥を使った創作活動をしましたので、その活動の中で生まれた「子どもたちの作品」を、当研究会が、血の池地獄に設置した「こども色博物館」に展示します。

また、こども色博物館の開館日(2024.9.28)には、当研究会が血の池地獄の来館者を対象に、教科書に取り上げられた活動と同様の「血の池地獄の赤い泥を使ったワークショップ」を実施し、国内外の方たちに紹介することとしました。

## こども色博物館の内容

日時 2024年9月28日(土)~11月7日(木)を予定

場所 血の池地獄入り口正面展示コーナー

展示 ①血の池地獄の赤い泥を使った子どもたちの作品

②これまでの研究活動

③教科書「図画工作3・4下力を合わせて(発行:開隆堂出版株式会社)」

※これに加えて、来館者の方から子どもたちへのメッセージやこの活動についてのご意見をいただき、掲示。合わせて、子どもたちの作品を掲載したポストカードを配布。



## ワークショップの内容

主催 「地域の色・自分の色」研究会

日時 2024年9月28日(土)10時~12時の2時間程度を予定

場所 血の池地獄池前広場

参加費 無料、どなたでも参加可能

※合わせて、子どもたちの作品を掲載したポストカードを配布。



## 研究会として

こども色博物館やワークショップ、教科書などを通して、「地域の色・自分の色」という私たちの活動や思いに触れていただくことにより、国内外の多くの方たちに、色という視点から、身の回りに隠れているふるさとの宝物を見つけることができるのだということを実感していただきたいと思っています。

